

議事要旨

会議名	第5回 大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会	作成課	都市計画課
日時等	令和3年 11月 26日 (金) 14:00～16:00 ミライ on 図書館 多目的ホール		
出席者	大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 委員 (20人中16人出席) 都市整備部都市計画課		
会次第	<ul style="list-style-type: none"> ● 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 全体構想における分野別方針について <ul style="list-style-type: none"> ① 土地利用および拠点整備の方針 ② 道路・交通の整備方針 ③ 水とみどりの整備方針 ④ 上下水道の整備方針 ⑤ 居住環境の整備方針 ⑥ 景観形成の整備方針 ⑦ 安全・安心のまちづくりの方針 (2) 防災指針について ● その他 <ul style="list-style-type: none"> 今後のスケジュールについて 		
主な内容等	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が外に働きに出ることを推奨しているような内容がみられる一方、市外から人を受け入れるような内容が弱いと感じる。市内から市外、市外から市内の両面により交流が生まれるというニュアンスを出せるような表現にしてはどうか。 ・ 市として都市計画区域に指定されていない区域について土地利用の規制・誘導の考え方があるのか、また、その内容について計画に記載する必要はないのか。 →都市計画区域外における土地利用の誘導・規制は考えていない。都市計画区域内については、立地適正化計画に基づき誘導を図っていく。 ・ 長崎空港の24時間化については、観光面や物流面での利用ならよいが、市民としては軍事面で利用されるのではないかと懸念している。24時間化の実現に向けて、市民へ十分な説明を行うことが今後必要になってくると思う。 ・ 「協働」というのは、関係者が互いに対等な立場で何かの目標や目的に向かって一緒に取り組んでいくことを意味しており、そのための関係づくりが必要である。また、NPO等の活動団体の高齢化が進み、世代交代が上手くいっていない状況がある中で、今後、NPO等の維持に関する取り組みも重要になると考えられる。 ・ 各分野で協働に関する内容が記載されているため、各分野の内容については現在の内容でよいと思うが、計画全体の流れの中で、どこかにNPO等の育成や協働に関する考え方について整理してはどうか。 ・ 市として臼島の利活用について何か考えがあるのか。臼島を活用することで、大村市の何か力になるのではないかと昔から言われている。計画に何か位置付けることはできないか、是非、ご検討いただきたい。 →具体的な取り組みがあるわけではないが、貴重な地域資源でもあると認識している。所管部署に問い合わせをし、活用の道筋があるようであれば計画に反映させたい。 ・ 新大村駅周辺では土地区画整理事業が進められており、今後は公募等により、様々な事業者が商業施設やホテルなどを建設していくことになると思う。その時に突拍子ないデザイ 		

ンの建物ができないよう、市も適切に指導をして、景観に配慮した建物の建設を事業者に促してほしい。

- ・ 防災ラジオをもっと活用していくことが重要と考える。災害情報に限らず、大きな事故や事件が発生した際にも情報を発信するなど、防災ラジオを普及・活用し、市民が必要としている情報を発信していくことができるとよい。
 - ・ 近年、浸水する地域が増えてきていると感じている。地域によっては、避難できる場所がない地域もあると思うので、今後建設する公共施設については、周辺の景観に配慮しつつ、平屋ではなく2階建て以上の建物を整備するなど、避難環境を確保していただきたい。
 - ・ 私が住んでいる地域では高齢化が進み、空き家も発生してきている。空家等対策計画では、どのような方針が位置付けられているのか。高齢化が進んでいるまちでは、若い人を呼び込むための取り組みや支援が必要ではないかと思う。
- 空家等対策計画では、空き家バンク導入などの取り組みは位置付けられておらず、導入に向けた内容はまだ詰め切れていない状況である。今後、市としても空き家対策について検討していきたい。
- ・ 新幹線が開業する中で、交通結節点となる空港・高速道路・新幹線駅が上手く線で繋がりがあっていくことが重要であり、そうした交通結節点を結ぶ動線の整備をお願いしたい。